

## 「大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること」

### I 学生への学習支援体制

#### 1. 授業の学習支援

##### ① 入学前の教材学習支援システム

入学前の学生に対し、有意義に大学生活を送るために役立つと思われる経済分野および一般教養分野の文献を紹介し、レポートの作成・提出を指示している。

入学後、提出されたレポートについてクラスカウンセラーより指導を実施している。

##### ② 習熟度別クラス編成

入学後のオリエンテーションにて英語の素養テストを実施し、習熟度別でのクラス編成を実施。

また、「簿記原理 I A・B」には、学習暦に応じて（基礎）または（応用）を選択できるようにしている。

留学生の「日本語」はレベルに応じて4段階のクラス、その他の語学（英語、中国語、韓国語、ドイツ語）は3段階のクラスを開講している。

「日本語」「英会話」に関しては、履修登録後の初回講義でレベル分けテストを実施し、さらにレベルに応じた2分割クラスで講義を行っている。

##### ③ 個人指導

必修科目など修学上重要な授業については、オフィスアワーや補習の時間を確保して個人指導を行っている。

#### 2. クラスカウンセラーによる支援

全学科・全学年・全学生にクラスカウンセラーを配置。科目担当教員・学科長並びに教務課・学生課・キャリアサポートセンター・国際交流センター等の組織との連携のもと、学習指導・生活指導・進路相談等4年間の一貫した支援体制を整備している。

#### 3. 各種資格取得に関する支援

希望者に対し、正規授業外で各種資格取得のための講座を開講。資格の取得方法や国家試験に対する、知識向上等の対策支援を行っている。

#### 4. 出席管理

全科目全授業で出欠を確認、コンピューター管理を行っている。随時、国際交流センターによる留学生の出席管理・指導を行っているほか、年に4回ほど、クラスカウンセラーにより全学生に指導を行っている。

## 5. 学習情報の提供

### ① オリエンテーション

入学時に行う新入生オリエンテーションでは、学生課・教務課・国際交流センターが中心となり、履修登録の説明・学生生活・学生向けサービス等の説明を集中して行い、新入生全員が所属するSDセミナー（1クラス15～25名程度）においてクラスカウンセラーが随時各種説明・情報提供を行っている。

### ② 成績表の配布・履修指導

全学年とも学期毎の成績表をクラスカウンセラーが直接学生に手渡し・指導を行っている。

### ③ 学生情報パソコンの利用

学内のマルチメディアセンターにおいてパソコンを随時無料利用できるほか、学生個人の携帯電話・パソコンからも大学のホームページを通じて各種情報を入手できるようにしている。

### ④ 学内掲示板等の案内表示

大学全般に関わる情報の伝達は、全学掲示板、部署単位の掲示板により遅滞なく行っている。

## II 学生への学習支援に対する学生の意見等を汲み上げる仕組み

### 1. クラスカウンセラー制度

全学年・全学科・全学生にクラスカウンセラーを配置（1クラス15～25人程度）しており、年に2回の成績配布時及び年4回の出席指導等を通じて、学生からの要望等を聞く機会を設けている。

### 2. オフィスアワーの活用

専任教員の殆どがそれぞれの研究分野のほか、各種テーマに沿った学生からの相談・アドバイスの時間を設けており、その時間を通じて聴取した学生の意見を個人情報保護に留意しつつ学科会議や教員研修を通じ、全教員の情報共有を図っている。

### 3. 学生による授業評価アンケート

各学期ごとに非常勤教員を含む全教員の授業評価アンケートをとっており、集計結果をもとに各教員の改善計画を作成し、その内容を授業において学生にフィードバックしている。